

かすがい

CONTENTS

No.161

2024 July



シンボルマークの由来

日本列島を抽象化し、赤の箇所が千葉県を指しています。

デザイン:元会長 荻原 幸雄

- P.01 目次・表紙について
 - P.02 公益社団法人 千葉県建築士事務所協会 副会長のご挨拶
 - P.03 令和6年 新春賀詞交歓会
 - P.05 令和5年度 第30回 千葉県建築文化賞
 - P.08 第6回 賛助会まつりに参加して
 - P.09 第36回 千葉県建築学生賞
 - P.12 賛助会合同ボーリング大会
 - P.13 景観まちづくり通信 灯明台に照らされたまち船橋の商業的景観の今を辿る
 - P.15 流山建築探訪に参加して
 - P.17 賛助会技術講座 木材プレカット加工工場からのご案内 … (株)ひらい
 - P.19 理事会報告
 - P.23 会員の動静・会員の特典
 - P.24 事務局だより・編集後記・支部会員数
- 裏表紙 令和6年度 一級・二級・木造建築士定期講習受講ご案内

表紙について



Photo: 石黒 俊行

船橋大神宮(意富比(おおひ)神社)内にある常盤(ときわ)神社は色彩の鮮やかさで目を引きます。唐門奥に立地する小ぶりの社殿は、平成27年10月に大林組によって建て替えられた伝統木造建築社殿です。第23回千葉県建築文化賞(千葉県主催)の優秀賞を受賞しています。

当宮を奉斎された日本武尊と江戸開府の頃、当宮を崇敬・庇護された徳川家康公、秀忠公を御祀りしています。総漆塗、彩色仕上げと金色の装飾を施した木組みは日光東照宮の造形と重なります。

灯明台(千葉県有形民俗文化財)

境内東方の丘に立てられている木造瓦葺の灯明台は、3階建てで高さ約12m。3階の灯室は、洋風の灯台の様式を採り入れた六角形の木造登状建築です。明治13年(1880)、地元の漁業関係者によって建設されました。

